

自ら学ぶ意欲と豊かな心を持ち、たくましく未来を拓く児童の育成

# ★ 湊小学校だより

令和6年2月8日  
白山市立湊小学校

昨年12月には「後期学校アンケート」にご協力いただき、ありがとうございました。

アンケートの結果から見てきた、本校の取り組みの成果や課題・改善策等についてお知らせいたします。

## 「後期(12月)学校アンケート」 結果

【平均値】結果を以下のように数値化して算出

- A あてはまる : 4点
- B どちらかというにあてはまる : 3点
- C どちらかというにあてはまらない : 2点
- D あてはまらない : 1点

### (1) 学校が楽しい

回答	質問項目	今回(R5 後期)		前回(R5 前期)	
		A+B(%)	平均値	A+B(%)	平均値
児童	学校が楽しい	94.7	3.54	96.9	3.69
保護者	お子さんは、学校で楽しくすごしている	96.3	3.53	95.0	3.57

前期に引き続き、児童・保護者とも「学校が楽しい」と感じている割合が非常に高く、楽しそうに活動している様子が見られます。

#### 【改善策】

・「あてはまらない」「どちらかというにあてはまらない」と回答した児童は全職員で確認しました。授業や休み時間、そうじ時間等様々な場面で様子を見取り、ご家庭とも連絡を取り合いながら、全職員で支援を行っていきます。



### (2) 学び合う子

考える力 表現する力	児童	わたしは、自分の考えを伝える時に根拠や理由を示し、分かりやすく表現している。	92.5	3.43	92.1	3.40
	保護者	お子さんは、自分の考えを伝える時に、根拠や理由を示し、分かりやすく表現するように努めている。	90.4	3.19	85.0	3.12
授業がわ かりやすい	児童	授業はわかりやすい	94.0	3.57	98.4	3.75
	保護者	お子さんは授業がわかりやすいと思っている	95.6	3.32	96.7	3.37

「どうしてそう思ったの?」「どこからそう考えたの?」等、根拠や理由を引き出すワードを活用させ、意図的な意見交流の場の設定を心掛けました。また、単元や授業のゴールの姿を示し日々の授業を行いました。

#### 【改善策】

・教職員が各教科や各単元の中で、根拠や理由を示す場面をどこにするか見直しをもって設定します。また研修を通して、より具体的な指導を全職員で学び実践していきたいと考えます。学習内容によっては、個人差が見られるため、支援員の活用や、補充学習で個別最適な学びを推進していきます。



### (3) 助け合う子

挨拶	児童	わたしは、いつでもどこでもだれとでも進んで挨拶している	96.2	3.55	95.3	3.60
	保護者	お子さんは、きちんと挨拶している	89.6	3.30	88.3	3.22
規範意識	児童	わたしは、授業前に準備をし、チャイムスタートできている	93.2	3.46	92.1	3.46
思いやり	児童	わたしは、友だちに対して思いやりのある温かい言葉を伝えている	92.5	3.51	92.1	3.51
	保護者	お子さんは、友だちに思いやりのある温かい言葉を伝えている	91.9	3.29	88.3	3.21

校内では、登校、下校ともに挨拶を行おうとする児童が増えてきました。目を見て、元気に、大きな声での挨拶を心掛ける子も増えてきました。チャイムスタートの意識も高いです。たてわり活動で下級生への思いやりのある言動がよく見られます。

#### 【改善策】

- ・あいさつについては、自分から友達や教師に声を掛けることが恥ずかしい等、進んで挨拶する事が難しい児童もいます。このような児童には挨拶を返す等した場面を積極的に認め、恥ずかしさや抵抗感がなくなるよう粘り強く関わっていく考えです。
- ・チャイムスタートについて、教師も予鈴時には教室に行き、児童に声掛けを行っていきます。
- ・相手の気持ちを考えない言動が見られる児童については、その都度具体的にどんな言動がよくなかったのか教えたり、自分で気付く事ができるようにしていきます。



### (4) 鍛え合う子

主体性 自己肯定感	児童	わたしは、他の学年やいろいろな友達と協力したり、よいところを見付けたりしている	94.7	3.61	95.3	3.60
	保護者	お子さんは、他の学年やいろいろな友達と協力したり、よいところを見付けたりしている	97.0	3.42	96.7	3.33
体力づくり	児童	わたしは、体育の時間やその他の時間に、からだをよく動かしている	97.7	3.80	95.3	3.75
	保護者	お子さんは、運動したりからだを動かしたりして遊んでいる	90.4	3.43	95.8	3.55

たてわり活動を中心に、お互いを認め合う声掛けを働きかけ、児童同士の関わりを深めたことで、主体性や自己有用感を高めることができました。ペア学年の取組を実施したり、感想を交流させたりしたことの成果と考えます。

#### 【改善策】

- ・体力づくりの項目で、保護者評価が下がってしまいました。寒い時期になり、運動する姿が家庭からは見えにくかったためではないかと考えます。学校では、スポチャレの縄跳びを推奨し、体力の向上を目指していきたいと思っています。

### (5) いじめ等に対する対応

児童	いじめられたり無視されたりすることなく安心して過ごしている	91.7	3.61	95.3	3.74
保護者	お子さんは、いじめられたり無視されたりすることなく安心して過ごしている	95.6	3.55	94.2	3.50

友達との関わり方で、自分の想いの伝え方や受け止め方で悩んでいる児童もいます。個別に対応し、児童が安心して過ごすことができるよう指導をしています。

#### 【改善策】

- ・今後も、いじめアンケートの活用や個人面談等、日頃から子どもたちの様子を見取り、未然防止・早期対応に努めます。
- ・事案発生時には、全教職員で情報を共有して、見守りや声かけなどで、解決と再発防止に努めます。

第3回学校運営協議会より ※1/18に学校運営協議会が実施され、委員の方々よりご意見をいただきました。

- ・あいさつについては、家庭によって差があると感じている。子どもは大人があいさつをする姿を見て学ぶ。学校でも、地域でも、家庭でも、その大切さを伝えていけたらいい。